

## 議決権行使レポート

証券コード 6240

会社名 ヤマシンフィルタ

	賛成	反対	棄権
第 1 号議案 定款一部変更の件	○		
第 2 号議案 取締役 6 名選任の件			
山崎 敦彦 氏		○	
井岡 周久 氏	○		
山崎 裕明 氏	○		
森田 秀朗 氏	○		
吉川 美代子 氏	○		
山崎 敬明 氏	○		
第 3 号議案 監査等委員である取締役 1 人選任の件			
高辻 成彦 氏	○		
第 4 号議案 取締役の報酬額改定の件	○		
第 5 号議案 取締役に対する譲渡制限付き株式付与のための報酬額改定の件	○		

### 上記の推奨をした理由

#### 第 1 案 定款一部変更の件

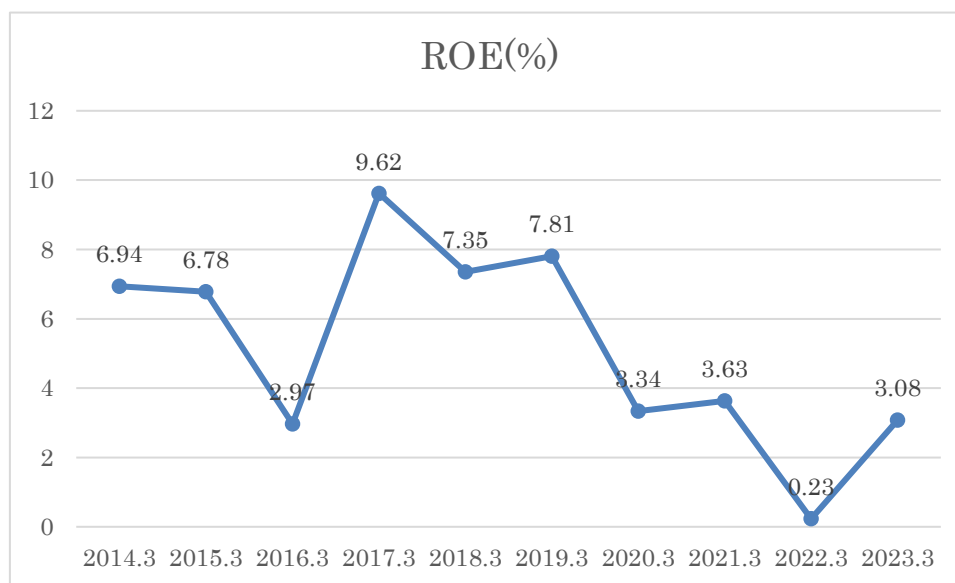
定款の変更に関して、ISS の議決権行使助言基準によると、反対を推奨すべき内容が一つでも含まれていた場合その議案への反対が推奨されている。そして、今回の定款変更は取締役の員数の上限を 6 名に増やすというものである。これについて、ヤマシンフィルタの今期の決算資料には、2024 年期中に事業構造改革を進めると記載されていることを踏まえ、今回、経験豊富な取締役が増えることで、さらなる経営陣の連携・コーポレートガバナンスの強化につながると考え、賛成とした。

#### 第 2 案 取締役 6 名選任の件

山崎 敦彦 氏

1980 年に初めてヤマシンフィルタの取締役に就き、そこから 40 年以上に渡り営業部長、代表取締役社長などの重鎮を担っている。この豊富な経験から、持続的な企業価値向上に向けたグループの経営に多大な貢献を及ぼすとは考えられる。しかし、前述の ISS は取締

役選任について、過去5期平均のROE:自己資本比率が5%を下回り、改善傾向にない場合経営トップである取締役の選任について反対を推奨している。過去5期平均のROEは3.61%で、当社のROEは下のグラフから分かる通り、山崎敦彦氏が現職に就任した2020年から3%台と低い数字で推移しており、新型コロナウイルスの流行を加味しても、2023年3月期でそこまでの数字の改善が見られないため、経歴や取締役会出席状況は申し分ないものの、経営トップとしての能力には一部懸念が見られると考え、反対とした。



井岡 周久 氏

証券会社や機械会社で経営に携わったのち、2020年からヤマシンフィルタの取締役に就いている。財務経理部長、管理本部長を歴任した経験と、他業界にも深く携わった経験から、持続的な企業価値向上に向けたグループの財務戦略実現に多大な貢献を及ぼすと考え、賛成とした。

山崎 裕明 氏

2011年にヤマシンフィルタに入社し、2020年から取締役に就いている。フィリピン、アメリカ、ベルギーなど、海外のヤマシングループの企業で代表取締役、取締役などの主要ポストを務めた経験から、持続的な企業価値向上に向けたグループ開発、営業戦略の実現に多大な貢献を及ぼすと判断し、賛成とした。

森田 秀朗 氏

長年他社で企業経営に携わった後、2020年から当社の取締役に就いている。他社で常務取締役、グループ会社での取締役社長等を務め、経営に深く携わった経験から、当社のグループ経営に有益な助言を与えることが可能であり、社外取締役として業務執行から独立した客観的な視点に基づく経営の監督機能の強化、取締役会の透明性の向上を果たせると考え、賛成とした。

吉川 美代子 氏

長年他社でコンプライアンス・ジェンダーに関する業務に携わったのち、現在は大学客員教授を務めており、今回選任されれば新任となる。放送局や犯罪防止に関する NPO で重鎮を担った経験から、社外取締役として業務執行から独立した客観的な視点に基づく経営の監督機能の強化、取締役会の透明性の向上への多大な貢献が期待できると考え、賛成とした。

山崎 敬明 氏

2015年にヤマシンフィルタに入社し、以来経営、生産、購買に関する主要ポストに就いており、今回選任されれば新任となる。2015年の入社以来、フィリピンのグループ会社で取締役を務め、当社で主要ポストに就いた経験から、持続的な企業価値向上に向けたグループの生産管理、購買戦略の実現に多大な貢献を及ぼすと考え、賛成とした。

以上より、取締役候補の選任について、山崎敦彦氏以外、5名の賛成を推奨する。この5名については、年齢層を見ても、1980年代に生まれた候補が2名おり、世代交代も上手く進んでいると考えられるほか、キャリアが豊富な女性も含まれており、バランスの良い人選が行われていると考える。

### 第3案 監査等委員である取締役1人選任の件

より良いコーポレートガバナンスのためには、独立した社外の監査役が経営を監督することが重要である。今回の議案では、2021年から当社の社外取締役を務めている高辻成彦氏の再任が問われている。高辻氏は、経済産業省、三井住友銀行と複数の機械業界の企業でのキャリアがあり、それぞれの分野での専門家として幅広い知見と見識を有しており、その知見を活かして経営陣から独立した立場で取締役会に多大な貢献をもたらすことが期待できると判断し、賛成とした。

### 第4案 取締役報酬額改定の件

ISSは取締役報酬額に関して、増加の具体的な理由が説明されている場合原則として賛成を推奨している。今回の報酬額改定は、第1案の取締役2名増員に伴うもので、理由・内容も詳しく記されており、中身に問題はないと思われる。第1案に賛成していることから、こちらも賛成とした。

### 第5案 取締役に対する譲渡制限付き株式付与のための報酬額改定の件

この報酬額改定に関する議案も、取締役の員数増加に伴うものであり、理由・内容も詳しく記されており、中身に問題はないと思われる。第1案に賛成していることから、こちらも賛成とした。

## 参考文献

- ・ヤマシンフィルタ第68回定時株主総会招集通知([https://www.yamashin-filter.co.jp/ja/ir/stock/meeting/main/09/teaserItems2/0/linkList/0/link/68\\_shosyu\\_02.pdf](https://www.yamashin-filter.co.jp/ja/ir/stock/meeting/main/09/teaserItems2/0/linkList/0/link/68_shosyu_02.pdf))
- ・ヤマシンフィルタ2023年3月期決算資料 [https://www.yamashin-filter.co.jp/ja/ir/library/result/main/0/teaserItems2/06/linkList/0/link/KessanSetsumeikai\\_03.pdf](https://www.yamashin-filter.co.jp/ja/ir/library/result/main/0/teaserItems2/06/linkList/0/link/KessanSetsumeikai_03.pdf))
- ・ISS 議決権行使基準2023(<https://www.issgovernance.com/file/policy/2022/2023-Benchmark-Policy-Changes-For-Comment-Japanese.pdf>)